



2019年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年9月11日

上場会社名 株式会社イムラ封筒 上場取引所 東
 コード番号 3955 URL <http://www.imura.co.jp>
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)井村 優
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長兼経営企画部長 (氏名)食野 直哉 (TEL)06(6910)2511
 四半期報告書提出予定日 2018年9月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年1月期第2四半期の連結業績(2018年2月1日～2018年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年1月期第2四半期	11,891	△1.2	398	△28.2	458	△24.1	263	△35.5
2018年1月期第2四半期	12,030	0.1	555	△12.7	604	△7.5	408	△9.0

(注) 包括利益 2019年1月期第2四半期 243百万円(△45.5%) 2018年1月期第2四半期 446百万円(8.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年1月期第2四半期	25.59	25.31
2018年1月期第2四半期	39.65	39.40

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年1月期第2四半期	17,874	13,026	72.6
2018年1月期	17,608	12,895	73.0

(参考) 自己資本 2019年1月期第2四半期 12,970百万円 2018年1月期 12,850百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年1月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2019年1月期	—	0.00			
2019年1月期(予想)			—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年1月期の連結業績予想(2018年2月1日～2019年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	1.7	550	9.7	620	3.7	340	△18.0	33.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年1月期2Q	10,729,370株	2018年1月期	10,729,370株
2019年1月期2Q	428,771株	2018年1月期	428,771株
2019年1月期2Q	10,300,599株	2018年1月期2Q	10,300,628株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、本資料の発表日現在において経済環境や事業計画等に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示変更について)

第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策、日銀の金融緩和策を背景とした企業収益ならびに雇用・所得環境の改善もあり、総じて緩やかな回復基調で推移いたしました。

郵便およびメール便市場においては、普通通常郵便物の取扱数量は持ち直しの動きが確認され、メール便の取扱数量も微増で推移するなど、底打ちが期待される状況にあります。しかしながら、ダイレクトメール市場の動向は、“折込み・ダイレクトメールの郵便料等”（経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」による）の実績が依然として減少傾向にあることから、当社グループを取り巻く環境は先行き不透明な状況となっております。一方で、通販市場は、アパレル通販やB to B 通販の伸張を背景に、堅調な動きを持続しており、包材関連需要の拡大が期待されます。

このような情勢のもと、当社グループは、「Give & Give & Give（全ての人に最高の付加価値を届け続ける）」をテーマに掲げ、お客様に満足いただけるソリューションサービス分野への取り組みを、全社を挙げて進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、メーリングサービス事業の不振等により、118億91百万円（前年同期比1.2%減）となりました。損益面につきましては、減収や商品売上の構成比上昇による売上総利益率の低下等により、営業利益は3億98百万円（前年同期比28.2%減）、経常利益は4億58百万円（前年同期比24.1%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、100周年記念行事費用として1億35百万円を特別損失に計上したこともあり、2億63百万円（前年同期比35.5%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(封筒事業)

エリア戦略として首都圏における売上の拡大を図るべく、既存得意先への深耕および新規開拓を進めた結果、地方市場の不振の影響を吸収し、売上高は95億12百万円（前年同期比1.3%増）となりました。損益面では、増収に加え、原材料費および内製化による外注加工賃の抑制等により、上述の売上総利益率の低下による影響を吸収し、営業利益は4億1百万円（前年同期比7.6%増）となりました。

(メーリングサービス事業)

企業のアウトソーシング需要が高まる中、ビジネスプロセスアウトソーシング（BPO）市場における販売力強化を継続し、新規案件の獲得を進めるものの、前年同期における大ロスポット案件の反動減等により、売上高は15億49百万円（前年同期比8.3%減）となりました。損益面では、減収に加え、サービス領域拡充に向けた設備投資に伴う償却負担増や人員増強による労務人件費の増加もあって、36百万円の営業損失（前年同期は営業利益98百万円）となりました。

(その他)

封入機の製造販売を手掛ける子会社の業績が低調であったことを受け、売上高は8億28百万円（前年同期比12.8%減）、営業利益は30百万円（前年同期比62.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億65百万円増加して178億74百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が増加したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1億34百万円増加して48億47百万円となりました。これは主に、電子記録債務や賞与引当金が増加したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1億31百万円増加して130億26百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものです。

なお、自己資本比率は同0.4ポイント低下して72.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億84百万円減少して23億72百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の収入は1億96百万円となりました。これは主に、資金の増加要因として税金等調整前四半期純利益3億33百万円、減価償却費3億6百万円、仕入債務の増加額64百万円、資金の減少要因として売上債権の増加額4億28百万円、法人税等の支払額1億44百万円などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の支出は2億7百万円となりました。これは主に、資金の減少要因として有形固定資産の取得による支出1億73百万円、敷金及び保証金の差入による支出31百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の支出は1億71百万円となりました。これは主に、ファイナンス・リース債務の返済による支出15百万円、長期借入金の返済による支出34百万円、配当金の支払額1億21百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において、2018年3月14日に発表いたしました「2018年1月期決算短信」に記載しております2019年1月期業績予想からの変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,698	2,519
受取手形及び売掛金	3,280	3,628
電子記録債権	529	610
商品及び製品	500	442
仕掛品	237	253
原材料及び貯蔵品	348	389
その他	563	684
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	8,154	8,526
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,559	1,525
機械装置及び運搬具（純額）	1,945	1,818
土地	3,655	3,655
その他（純額）	472	532
有形固定資産合計	7,632	7,531
無形固定資産	60	61
投資その他の資産		
投資有価証券	1,185	1,161
その他	582	597
貸倒引当金	△6	△5
投資その他の資産合計	1,761	1,754
固定資産合計	9,453	9,347
資産合計	17,608	17,874

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,509	1,488
電子記録債務	993	1,078
1年内返済予定の長期借入金	39	5
未払法人税等	189	185
賞与引当金	383	450
その他	1,000	1,076
流動負債合計	4,116	4,285
固定負債		
退職給付に係る負債	126	172
資産除去債務	112	115
その他	357	273
固定負債合計	596	561
負債合計	4,712	4,847
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	1,365	1,365
利益剰余金	9,786	9,926
自己株式	△207	△207
株主資本合計	12,142	12,282
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	406	392
退職給付に係る調整累計額	302	295
その他の包括利益累計額合計	708	687
新株予約権	34	46
非支配株主持分	10	10
純資産合計	12,895	13,026
負債純資産合計	17,608	17,874

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年2月1日 至2017年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年2月1日 至2018年7月31日)
売上高	12,030	11,891
売上原価	9,343	9,361
売上総利益	2,686	2,529
販売費及び一般管理費	2,131	2,131
営業利益	555	398
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	21	25
受取賃貸料	10	10
売電収入	5	5
その他	20	29
営業外収益合計	58	70
営業外費用		
支払利息	1	0
賃貸費用	3	3
売電費用	3	3
その他	1	3
営業外費用合計	9	10
経常利益	604	458
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	21	12
特別利益合計	21	13
特別損失		
固定資産除却損	5	3
減損損失	5	—
100周年記念行事費用	—	135
特別損失合計	10	138
税金等調整前四半期純利益	615	333
法人税、住民税及び事業税	198	150
法人税等調整額	7	△80
法人税等合計	206	69
四半期純利益	409	263
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	408	263

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年2月1日 至2017年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年2月1日 至2018年7月31日)
四半期純利益	409	263
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18	△13
退職給付に係る調整額	18	△6
その他の包括利益合計	37	△20
四半期包括利益	446	243
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	445	243
非支配株主に係る四半期包括利益	1	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年2月1日 至2017年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年2月1日 至2018年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	615	333
減価償却費	303	306
減損損失	5	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7	△1
賞与引当金の増減額(△は減少)	1	67
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	60	46
株式報酬費用	12	11
受取利息及び受取配当金	△21	△25
投資有価証券売却損益(△は益)	△21	△12
支払利息	1	0
売上債権の増減額(△は増加)	△227	△428
たな卸資産の増減額(△は増加)	81	1
仕入債務の増減額(△は減少)	△324	64
長期未払金の増減額(△は減少)	△83	△11
その他	26	△81
小計	423	269
利息及び配当金の受取額	21	25
利息の支払額	△1	△0
補助金の受取額	—	46
法人税等の支払額	△157	△144
営業活動によるキャッシュ・フロー	286	196
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△384	△173
無形固定資産の取得による支出	△24	△9
資産除去債務の履行による支出	△19	—
投資有価証券の売却による収入	35	20
定期預金の増減額(△は増加)	△6	△6
敷金及び保証金の差入による支出	△0	△31
敷金及び保証金の回収による収入	66	0
その他	△24	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△356	△207
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△16	△15
長期借入金の返済による支出	△109	△34
配当金の支払額	△102	△121
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△229	△171
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△297	△184
現金及び現金同等物の期首残高	2,930	2,557
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,632	2,372

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年2月1日至2017年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	封筒事業	メーリング サービス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,388	1,690	11,079	950	12,030	—	12,030
セグメント間の内部売上高 又は振替高	39	0	39	22	62	△62	—
計	9,428	1,690	11,119	973	12,092	△62	12,030
セグメント利益	373	98	472	80	552	2	555

(注)1 その他には、以下の事業が含まれております。

コンピュータ及び周辺機器類の販売、ソフトウェアの開発
医療機関用印刷物の製造販売及び医療機関用諸物品の販売
機械器具の自動制御装置及び電子回路の設計製造販売

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年2月1日至2018年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	封筒事業	メーリング サービス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,512	1,549	11,062	828	11,891	—	11,891
セグメント間の内部売上高 又は振替高	40	1	41	20	62	△62	—
計	9,552	1,551	11,104	849	11,953	△62	11,891
セグメント利益又は損失(△)	401	△36	365	30	395	3	398

(注)1 その他には、以下の事業が含まれております。

コンピュータ及び周辺機器類の販売、ソフトウェアの開発
医療機関用印刷物の製造販売及び医療機関用諸物品の販売
機械器具の自動制御装置及び電子回路の設計製造販売

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。